

令和6年度 福井農林高等学校 スクール・ポリシー

スクール・ミッション【使命】

地域とともにある農業高校として、地域企業等との連携・協働による実践的な学習や地域の課題解決に貢献する探究的な学習を通して、地域社会の持続可能な発展に貢献する「スペシャリスト」として必要となる力を育成します。

校訓

『大地に生きる』

—自然に親しみ、大地を踏みしめ、誠実に生きる—

教育目標

1. 生命を尊重し、心豊かな人間を育成する。
2. 知性を磨き、教養を高め、創造性に富む人間を育成する。
3. 自主・自律の精神を養い、社会性のある人間を育成する。

グラデュエーション・ポリシー【育てたい生徒像】

「大地に生きる」という校訓のもと、自然を愛し生命を大切にす心やこれからの社会を誠実に生きる精神を涵養し、地域の持続可能な発展に向けて「食」「農」「環境」「生活」分野の専門性を十分に発揮し、地域社会に貢献し活躍できるスペシャリストを育成する。

カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】

(共通)

- ・生徒の多様な能力・適性・進路希望および各学科の目標に応じて必要な普通科目、専門科目、学校設定科目および選択科目を配置する。
- ・社会のグローバル化に向けて実用的な英会話力を身に付けることができるよう、「話すこと」を重視した英語の授業を行う。
- ・情報を収集・選択する力、情報を整理する力、プレゼンテーション能力などの情報活用実践力を身に付けることができるよう、すべての教科でタブレット端末等の情報手段を適切に用いて学習する。
- ・専門科目の理解を深めるため実験・実習を重視し、実習は2時間連続授業を基本とする。道具類の準備や後始末、観察、記録、レポート作成までの一連の作業を継続することで知識・技術の定着と課題の発見につなげる。
- ・各学科の専門学習と社会・職業とのつながりについて理解し、学習意欲や職業意識の向上につなげるよう、各学科の特徴を生かした地域連携活動や企業見学、インターンシップ、技術者招へい授業、資格取得学習を実施する。
- ・地域と協働して課題解決を図るプロジェクトをより追究するため、2年次から「課題研究」を履修する。また、「課題研究」を高校3年間の学びの集大成と位置づけ、プレゼンテーションによる発表会や研究論文の作成を行う。

カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】

(生物生産科)

- ・地域農業の持続的な発展を担う「農業」分野のスペシャリストとして必要な知識・技術を習得するため、農業生産や農業経営に関する農業科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を行う。
- ・将来の農業従事者として、農業生産に幅広く対応できる力を身に付けるため、作物、野菜、果樹、草花、畜産すべての生産分野の学習をする。また、より実践的な知識・技術の習得を目指し、先進農家等で研修を行う。
- ・農業生産分野の知識・技術の深化および課題解決を図るため、地域企業や大学、試験場と連携した研究活動を行う。

(環境工学科)

- ・国土保全や環境創造を担う「環境」分野のスペシャリストとして必要な知識・技術を習得するため、農業土木や森林・林業、造園に関する農業科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を行う。
- ・2年次より進路希望に応じて、自然環境の保全緑化について学ぶ環境緑化コースと、社会基盤の構築について学ぶ環境土木コースを選択し、各コースの目的に応じた応用的な科目を履修する。
- ・環境分野の知識・技術の深化および課題解決を図るため、地域企業や大学と連携した研究活動を行う。

(生活科学科)

- ・衣食住および保育や福祉など暮らしをより豊かにする「生活」分野のスペシャリストとして必要な知識・技術を習得するため、農業科目、家庭科目、福祉科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を行う。
- ・1、2年次には、農業や家庭、福祉に関する基礎的な知識・技術を幅広く身に付けるため、全員履修する。3年次には、進路希望に応じて、普通科目、家庭科目、福祉科目を選択履修する。
- ・福祉分野への進路希望に応じ、「介護初任者研修」の資格が卒業と同時に取得できるように、必要な福祉科目を配置する。

(食品流通科)

- ・農業生産から加工、流通、販売まで精通した「食」分野のスペシャリストとして必要な知識・技術を習得するため、農業科目、商業科目、食に関する学校設定科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を行う。
- ・2年次より進路希望に応じて、食品分析や衛生管理について学ぶ加工コースと、付加価値を高めより有利に販売する方法について学ぶ流通コースを選択し、各コースの目的に応じた応用的な科目を履修する。
- ・農産物や加工品など、商品の企画から流通・プロモーションや会計までビジネスとして展開する力を育成するため、商業科目を履修する。

アドミッション・ポリシー【入学時に期待される生徒像】

- 1 「農業」「林業」「造園」「土木」「生活」「福祉」「食品」に関する学習内容に興味・関心があり、将来、地域社会で農業をはじめとした産業の発展に貢献しようとする生徒
- 2 学校生活の中で、他者と協働しながら、学習活動や部活動、生徒会活動、農業クラブ活動に積極的に取り組む生徒
- 3 学ぶ意欲があり、検定や様々な資格を取得し、目的意識を持って将来の夢に向かってチャレンジする生徒
- 4 社会規律を学び、規則正しい学校生活を送り、思いやりの心を持ち、仲間と協力して高校生活を送ろうとする生徒

令和6年度 福井農林高等学校スクールプラン

人権教育の推進

- ・人権尊重の精神を涵養する。
- ・共感的理解に基づいた人間関係構築力を育成する。

業務改善の取組

- ・働き方についての意識改革を図る。
- ・スクールウェアやタブレットなど、情報資源の有効活用により、業務や会議の効率化と時間短縮を図る。
- ・学校行事や部活動について再構築に取り組み、校務分掌の適正化を図る。

重点目標

